

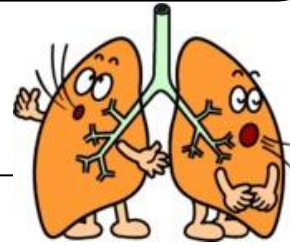
【各種がん検診を希望される方へ】

下記の注意点をよく読んで受診してください。

《肺がん検診》

医療機関での受診をお奨めする人

- ・妊婦及び妊娠している可能性のある人
- ・医療機関で肺がんの治療中または経過を見ている人
- ・肺がんにかかったことがある人
- ・医療機関で、結核・その他の呼吸器疾患の治療を受けている人
- ・6ヵ月以内に血の混じった痰が出た人



《胃がん検診》

原則、集団での検診では実施しない人

- ・妊婦及び妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人
- ・胃、食道、十二指腸、腸の手術を受けた人
- ・医療機関で胃の治療を受けている人
- ・検査前日の午後10時以降から検査当日まで、一口でも飲食した人
- ・硫酸バリウム製剤に対して、過敏症（じんましん、喘息など）になったことのある人
- ・消化管の穿孔または、その疑いのある人、穿孔を生ずる恐れのある人
- ・消化管に急性出血のある人、出血を生ずる恐れのある人
- ・消化管の閉塞または、その疑いのある人
- ・全身衰弱の強い人

問診で、受診できるかどうかを決める人

- ・人工肛門の人
- ・虫垂炎
- ・下痢をしている
- ・腸閉塞
- ・腸管憩室のある人
- ・体調不良の人
- ・胃ポリープ
- ・胃腸以外の手術
- ・高血圧の人
- ・大腸ポリープ
- ・強い胃痛がある
- ・高齢の人
- ・今までに医療品や食品などで過敏反応を起こしたことのある人、喘息、アトピー性皮膚炎などがある人
- ・誤嚥をおこす恐れのある人（高齢者、脳血管障害（脳梗塞・脳出血後）、嚥下困難、喘息など）
- ・消化管に炎症や出血、閉塞の疑われる人
- ・心臓に基礎疾患を有する人
- ・胃腸以外の疾患による手術後6ヵ月以内の人



《子宮頸がん検診》

原則、集団での検診では実施しない人

- ・子宮全摘出術を受けた人
- ・妊娠中の人
- ・生理中の人

問診で、受診できるかどうかを決める人

- ・子宮がんの手術を受けた人
- ・医療機関で経過観察中の人

《乳がん検診》

原則、集団での検診では実施しない人

- ・妊婦および妊娠している可能性のある人
- ・豊胸術をした人 → 圧迫（乳房を押さえる）時、破裂の恐れがある
→ 被曝線量が通常乳房の約2～3倍近くになる
→ 写真の診断ができない場合がある
- ・ペースメーカーを挿入している人 → 圧迫時、電池がつぶれてしまう可能性がある
- ・シャントの留置をしている人 → 圧迫時、逆流する可能性がある
- ・乳腺疾患で病院を受診している人
- ・授乳中の人 → 乳腺が発達しており、白っぽく写りやすい

問診や放射線技師の判断で、受診できるかどうかを決める人

- ・乳房の手術を受けた人（術後の管理状況や圧迫ができるかどうかなど）
- ・腕が上がらない人（リウマチ、五十肩、神経痛）
- ・出血傾向のある人（血小板減少症など）
- ・胸郭・脊椎変形、脊柱側弯のある人



《大腸がん検診》

医療機関での検診をお奨めする人

- ・大腸がんと診断された人、および大腸がんで手術した人

以上のがん検診は、比較的高い発見率が期待でき、日本国内では有効性が確立されているといわれている検診の手法です。

しかしながら、**どのがん検診も目的のがんを100%見つけることができるものではありません。**

検診で「異常なし」といわれても、その結果を過信しないようにして**自覚症状に注意**するなど今後もがん予防を心がけて下さい。

佐賀県健康づくり財団のがん検診注意点を参考に作成しています。

《がん検診に関する問い合わせ先》

大町町役場 子育て・健康課 健康づくり係
（大町町総合福祉保健センター「美郷」内）
☎ 0952-82-3186（直通）